

松江市・大口市姉妹都市提携

松江城と城下町を整備し、「松江開府の祖」と称される堀尾吉晴公ほりおせきの生誕地が大口市という縁で、平成27（2015）年8月29日に姉妹都市提携を結びました。

400有余年にわたる堀尾吉晴公との縁を引き継ぎ、両市町の行政間における情報交流や施策交流、民間交流のさらなる拡大を進めています。



松江城天守国宝指定5周年記念式典

令和2（2020）年に松江城天守が国宝指定されて5周年を迎え、記念式典が執り行われました。姉妹都市提携もともに5周年を迎え、松江市と大口市の「縁」が末永く続くよう誓い合いました。



「おおぐち観鋭桜」の植樹

姉妹都市提携5周年の記念として、「おおぐち観鋭桜」を松江市旧床几山配水池に植樹しました。ほかにも交流の証として松江市内に「おおぐち観鋭桜」が植樹されています。

おおぐち観鋭桜…大口市の諏訪神社にある古来種エドヒガンをクローン技術により培養した桜。五条川堤の桜並木の植樹に力を注いだ初代町長「社本鋭郎氏」の一文字を頂き名が付けられました。



修学旅行

大口中学校の3年生が修学旅行で松江市に出かけ、姉妹都市のきっかけとなった堀尾吉晴公が築城した松江城を見学しました。



堀尾氏邸宅跡（堀尾跡）

堀尾吉晴公をはじめとした堀尾氏累代の邸宅跡。堀尾氏は織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三英傑に仕え、出雲・隠岐両国24万石を領したといわれています。



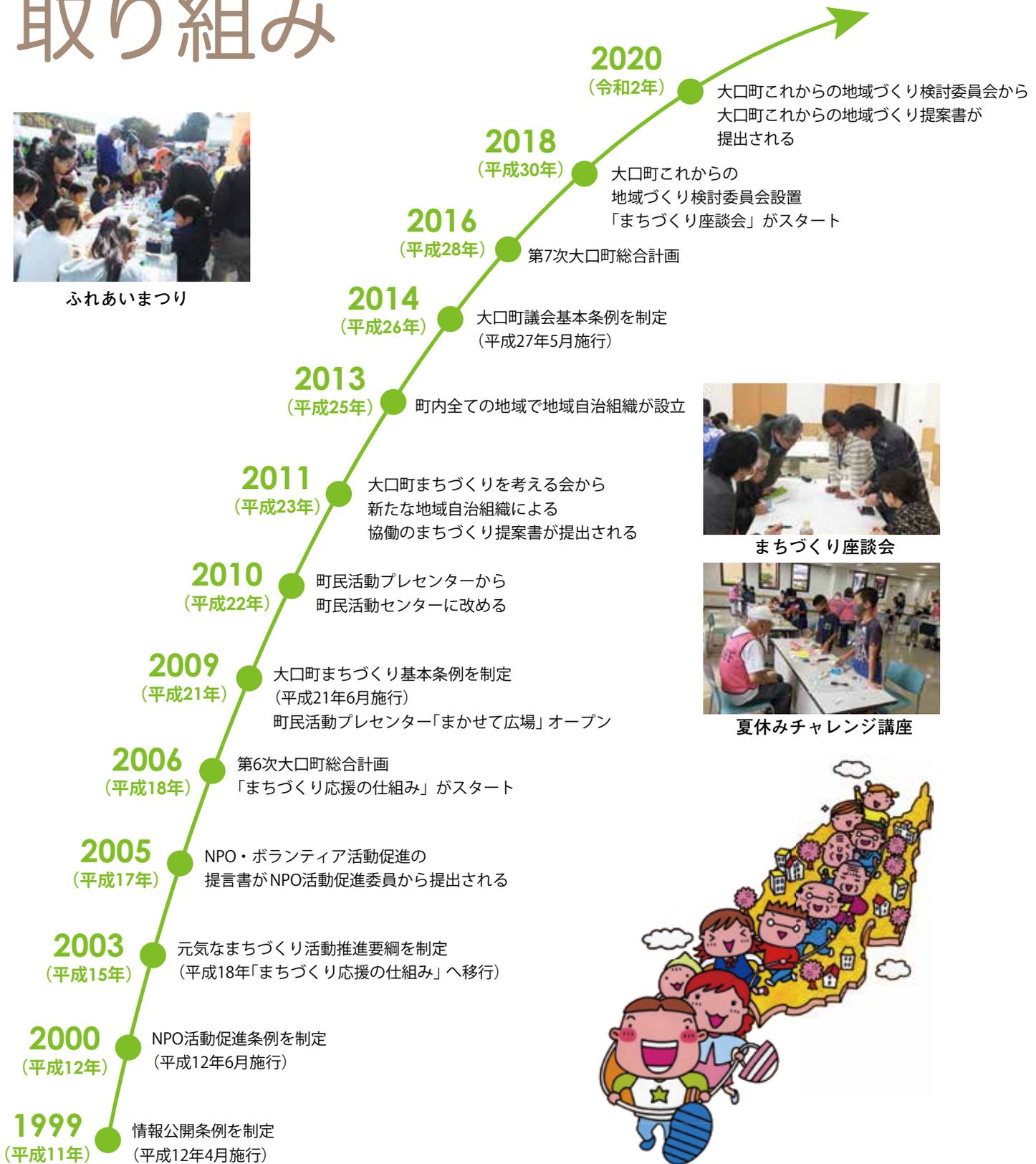
堀尾跡公園（堀尾跡）

堀尾金助とその母の「裁断橋物語」をテーマに、子を想う母の心を後世に伝える歴史公園です。
※金助は堀尾吉晴公の長男といわれています。

「協働」への 取り組み



ふれあいまつり



まちづくり座談会



夏休みチャレンジ講座

